



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	月刊DRF 第24号
Author(s)	デジタルリポジトリ連合; Digital Repository Federation
Description	事務局: 北海道大学附属図書館 http://drf.lib.hokudai.ac.jp/ で公開したもの
Issue Date	2011-12-28
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/73509
Type	journal
File Information	DRFmonthly_24.pdf





月刊 DRF

Digital Repository Federation Monthly

第24号

No. 24 January, 2012

【特集1】 2012年の抱負

【特集2】 2011年十大ニュースとキーワード

<トピック> 技術WS報告 / 平成23年度DRF講師派遣事業報告



今年度のDRFの運営委員・各WG・サブWG・アドバイザーのみなさんに、DRFについて、もしくは自IRについての抱負を募集し、5・7・5でひねって頂いたものを、DRF川柳審査委員会（任意組織）により選評しました。

特集 1

2012年の抱負

新春川柳句会



まず進め 結果はあとからついてくる
上田大輔（広島大学）

いちかばちか見ず知らずの先生に「論文ください」メールを送った時のことを思い出します（潮香）・結構どうにかしたし、これからはもうなりそうなきがする（有人）・はじめの一步を踏み出せば！（すみれ）・「ホップ」ぐらい意気込みなくても、一歩ぐらいなら踏み出せそう（天）・やはり心意気が一番大事ですよ（麦）

冬空の 風見習えやリポジットリ
関川雅彦（筑波大学）

風が強いほど高く上がるもの（潮香）・寒風を浴びて高く、そして、雲の上はいつも青空（結丸）

今年こそ先生全員覚えるぞ！

鈴木雅子（旭川医科大学）

「覚える」「覚えられる」の関係が理想ですね。（屁来吉）

ばっちこい！（い）

100でも200でも 登録してやる！

近藤喜和（奈良先端科学技術大学院大学）

元気な朝の気分が伝わります。1日100本、1年36500本（潮香）・「ばっちこい」の語源を辿ると怪しくなってきましたが、とにかく「コンテンツ！」（屁来吉）

やることはよりどりみどり（り）

森石みどり（大阪大学）

「リ」と「の」のリフレインがリズムカルでいいですね。リポジットを想起させます。さりげなく投稿者の名前も入れて。遊び心に充ちた秀句。（屁来吉）

よろこびも世界とともに hita-hita

土出郁子（大阪大学）

世界中が一致団結して進む！というダイナミズム（天）

ハーナッド？ 知らんわそんな俺の道
編集長賞 野中雄司（室蘭工業大学）

道なき道でも、自分がそれを切り拓いていけることは幸せ（潮香）・潔さの美学。その後ろをきくと誰かが歩くでしょう（結丸）・実はみんなそうかも知れませんか！（天）

127へ中堅研修定員増／杉田茂樹（小樽商科大学）
今年から開始した中堅担当者研修。熱い内容でした。DRF参加127館から全員が受講してほしいですね（すみれ）

少しだけでも少しづつ 積み重ね／片山俊浩（東北大学）
少しづつで健康のためにもいいのです。いつか積まれて山になる机の書類のことし？（結丸）

ライブラリ好き好き大好きリポジットリ（宇余り）リポジット好き好き大好きコンテンツ（同じく）／内島秀樹（金沢大学）
二つセットで声に出して読みたい名句（笑）（有人）

Repository depends on the contents／甲斐重武（広島大学）
選びたくもあり 選びたくもなし（地豆）

Disseminated thoughts Recursively bloom of DRF From very roots
山本和雄（北海道大学）
DRFの花はどんな色？日本語訳も提出ください（すみれ）

学内の あっちゃんこつちと つながるぞ／尾崎文代（広島大学）
「あつ、つながった！」と感じる瞬間が醍醐味ですよ（有人）

めがじやなるにのみこまれるかりばじり／栗山正光（常磐大学）
今後注目ですね。SpringerからSpringerPlus誌がスタートだそうです。（もとゆのみ）

キリいいしそろそろやるか インタビュー／阿部潤也（東京歯科大学）
他大学さんのインタビューを羨ましく思っていて、キリ番が近付いて来た時、正にこんな感じで立ち上がりました（壇）

つながって絆を作るりばじり／大澤類里佐（筑波大学）
私自身、素晴らしい絆を方々で築かせていただきました。ありがとうりポジットリ！（壇）

だんだんとあつまっていくふえていく／谷奈穂（千葉大学）
笑顔もふえていきます（麦）

識別子人と論えつなげます／守本瞬（金沢大学）
ヒトも論文も識別子をめぐる動きに注目（麦）

リポジットリ共に立てよう 辰年に／大園岳雄（香川大学）
太く長く！ テーマはやっぱりうん？（地豆）

ロビこまでもラフな感じで「ファンキー」に／加藤晃一（浜松医科大学）
「ロ」というバンドを結成してテーマソングを作ってほしい。ケニアではラップ調の「ソング」を作ってた（屁来吉）

ゆるキャラをうちのNARAにも 招き入れ／川井泰美（金沢大学）
キャラクターを生かす例が多いのは図書館界が一番かもしれない（壇）

ビートル広めて充実コンテンツ／中山千佳子（岡山大学）
広報大事。待っているのはコンテンツは集まらない（雪太郎）

忘れない ハンドルシステム更新日／永井一樹（兵庫教育大学）
永続ライセンスがほしいですね。一方、識別子としては今年度は「ARC」にも注目です！（もとゆのみ）

真似したい 事例はいっぱい やるだけだ／西園由依（鹿児島大学）
どれだけ盗んで真似しても、怒られることはありません。どんどんやりましょう！（天）

学術の平和を守るリポジットリ／空権母
パイルダーオン（古い）してみんなで守ろう！（結丸）
和をひろげ 知ることすべて実りあり／深川昌彦（山口大学）
実りを分け合ってまた和が広がる（もとゆのみ）

十大ニュース編

来年もたくさんよいニュースを作り出していきましょう！

DRFでは、各種ワークショップ・イベントへの講師派遣を実施しました。今回は、2011年11月までに開催された4つのイベントについて、応募機関の担当者からの声を交えて報告いたします。また、これから開催が予定されているイベントについてもお知らせいたします。(http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?Dispatchもご覧ください。)

オープンアクセス講演会 @NAIST

平成23年10月31日

奈良先端科学技術大学院大学

講師講演:

参加人数: 78人

- 「研究影響力の最大化のための二つの方策」杉田 茂樹(小樽商科大学 学術情報課長)
- 「オープンアクセス: 研究者の立場から」轟 眞市(物質・材料研究機構 先端フォトニクス材料ユニット主幹研究員)

担当者の声:

●応募してよかったこと: まだまだ本学の力だけでは本学研究者にお伝えできずにいたが、研究者にこそ知ってほしい、学術情報流通の危機やOAのこと。これを講師の方々から代わりにお伝えいただけたこと。



●イベントを開催しての感想: まずは、本学の研究者に、学術情報流通の危機やOAのことを、知っていただけたことにホッとしました。また、アンケートで、本学の研究者が講演を聞いてご自身が思ったことや感じたことを、素直に・真面目に答えてくださっていて、本当に嬉しかったです。



学術機関リポジトリの 充実のための著作権学習会

平成23年11月9日

山梨県立大学

講師講演:

参加人数: 33人

- 「機関リポジトリと著作権 概論」菅原 光(一橋大学 学術・図書館学術システム課図書館システム担当)

担当者の声:

●応募してよかったこと: 開催する研修会の趣旨と合った講師を紹介していただけた。講師選定、派遣依頼等にかかる事務の負担が軽くなった。

●イベントを開催しての感想: 実情に即した研修会を開催することができ、参加した先生方からも役に立ったと好評だった。



鹿児島県 学術共同リポジトリ講演会

平成23年11月29日

鹿児島大学

講師講演:

参加人数: 32人

- 「続広島の「知」を世界へ! ~HARP参加館からの報告~」渡辺 さゆり(日本赤十字広島看護大学図書館参事)
- 「福井県地域共同リポジトリ(CRFukui)について」久保 智靖(福井大学学務部学術情報課企画管理係長)



担当者の声:

●応募してよかったこと: 大学中心の広島県大学共同リポジトリと地域学術機関を含めた福井県地域共同リポジトリという特色ある2つの共同リポジトリから講師を派遣していただいたので、今後の鹿児島県学術共同リポジトリを検討していく上でとても参考になりました。

●イベントを開催しての感想: 2人の講師の方からは、持続的な共同リポジトリ運営のための豊富な事例に基づいたお話があり、講演後も活発な質疑応答が行われました。講演を通じて鹿児島県大学図書館協議会関係者や県内図書館関係者には共同リポジトリへの理解を深めていただき、鹿児島県学術共同リポジトリ参加機関は共同リポジトリの立ち上げに向けて決意を新たにす充実した講演会となりました。

平成23年度広島県大学 共同リポジトリ (HARP) 勉強会

平成23年11月25日

広島経済大学

講師講演:

参加人数: 27人

- 「効果的なコンテンツ収集の取組」若生 政江(城西大学 水田記念図書館 事務長)

担当者の声:

●応募してよかったこと: 埼玉県にはかつて、共同リポジトリ立ち上げ時に広島から講師を派遣したことがあり、今回はそのつながりを改めて拡げることもできました。他機関から来ていただくことは、ヒントを得ること以外に人のつながりを作ることもであると実感しました。



●イベントを開催しての感想: DRF派遣とは別にJUSTICEからも来ていただき、IRを取り巻く情勢から身近なヒントまで盛りだくさんの勉強会になりました。

... 12月以降開催のイベント ...

- ◆機関リポジトリ研修会@国際武道大学(平成23年12月21日)
- ◆神戸市外国語大学リポジトリワークショップ(平成24年1月20日)
- ◆愛媛大学図書館学術講演会(平成24年1月23日)

編集後記

みなさま、今年も大変お世話になりました。来年もよろしくお願いいたします。

次号 予告

- 【特集1】 DRF meets RSP
- 【特集2】 共用、共同リポジトリ最新事情

月刊DRFでは、みなさまからのお便りをお待ちしています。gekkandrf@gmail.com

http://drf.lib.hokudai.ac.jp/gekkandrf/

月刊DRF24号 平成23年12月28日発行 デジタルリポジトリ連合